

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

公共施設の将来のあり方を考える市民対話《小島・大浦・梅香崎地区》

第1回 開催報告



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。



日時 令和4年7月2日(土) 14:00~16:00

場所 南公民館 講堂

参加者 地域の皆さん 36人

人口減少や少子高齢化が進む中であっても、暮らしやすいまちであり続けるために、小島・大浦・梅香崎地区にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

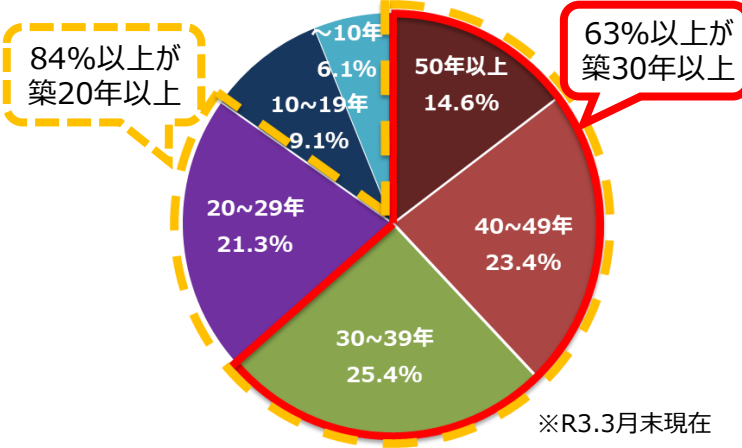
※手指消毒、換気、マスク等の新型コロナウイルス感染対策を行い、開催しました。

1 いま起きている“変化”と状況

公共施設が古くなってきています

- ・市の公共施設（建物）の6割以上が建築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・今後、修理や建替えの時期を一齐に迎えます。

＜施設の築年数と施設の量（床面積）の割合＞



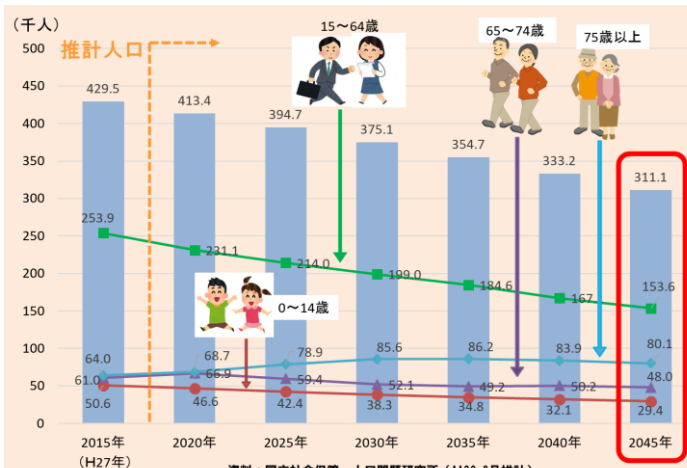
人口減少・少子高齢化が進んでいます

- ・長崎市の人口は、2045年には約31万人にまで減少すると予測され、それに伴い施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・「働く世代」の人口が大きく減少して**税収が減少することが予想**されます。
- ・今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- ・このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られて**しまいます。

私たちのまわりで起きている変化



＜人口の将来予想＞



・高度成長の時代を経て、私たちの暮らしは豊かになってきました。しかし一方で、近年では人口減少や少子化、高齢化、ひとり暮らし世帯の増加といった問題や大雨による地滑り、台風、津波などの自然災害の増加による、防災に対する意識の変化など、私たちの周りでは様々な変化が起きています。

新型コロナウイルスの流行による変化も

●コロナ禍での変化

- ・コンビニで住民票等の取得
- ・スマートフォンなどを使用した電子納税
- ・テレワークの普及
- ・オンライン会議の活用 etc....



コロナの終息後も、新しい生活様式が当たり前



・「新型コロナウイルス」が世界中で流行し、スマートフォンを利用したサービスの提供やテレワーク、オンライン会議の普及、「新しい生活様式」など働き方や生活の新たな常識「ニューノーマル」時代へと変化しています。

2 長崎市の現状

人口減少

公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の量は
そのまま



少子高齢化

医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる



3 コロナ禍を契機として

コロナ禍を契機として.....

- ・行政サービスの提供方法の変化
- ・公共施設のあり方を見直す必要性

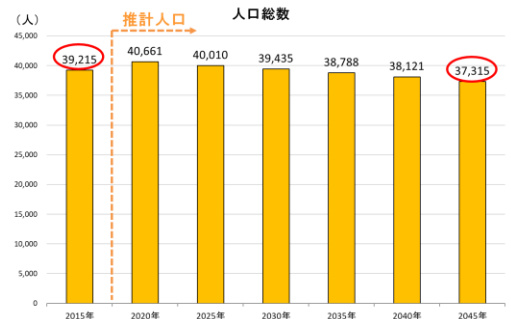
コロナ禍を契機として、スマートフォンを活用した非接触での行政サービスの提供方法へ変化がみられるようになってきました。このような変化のなか、これからも暮らしやすさを維持していくためには、社会のいろいろな「しくみ」を見直していく必要があります。

その中の一つとして、公共施設の使い方の見直しに取り組んでいくことも必要と考えます。

4 小島・大浦・梅香崎地区の現状

1 小島・大浦・梅香崎地区の将来推計人口

人口は30年で5%程度の減



2015年で約3万9千人の人口が、30年後には3万7千人程度と、やや減少するものと予想されています。

統計的には、これから小島・大浦・梅香崎地区でも人口減と高齢化が進むと予想されています。

グループでの話し合い

「区内にある施設の課題等」「市の考える施設の基本的な配置に対する意見」について考えよう

- 小島・大浦・梅香崎地区の将来を考えるうえで、区内にある施設の課題などは何ですか。
- 市の考える施設の基本的な配置に対して、どう思いますか。思い浮かんだことを書き出してもらい、班で話し合いました。

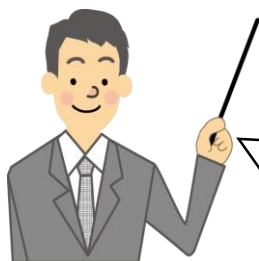


5 公共施設のあり方についての考え方

また、どのように公共施設を考えていくかについても、お話ししました。

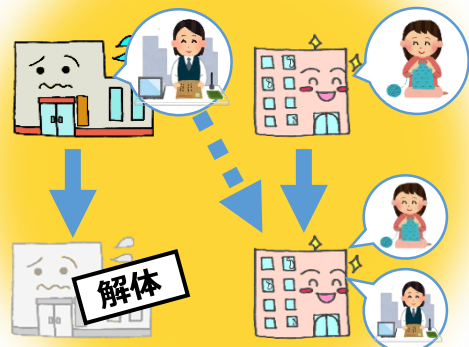
まず大切なことは…

施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を考えるということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

<工夫した使い方の例>

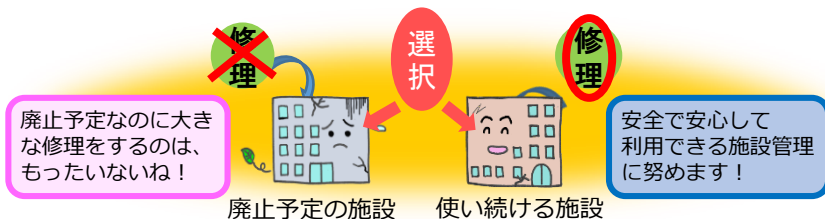


建物は減っても… サービスは残る

考え方

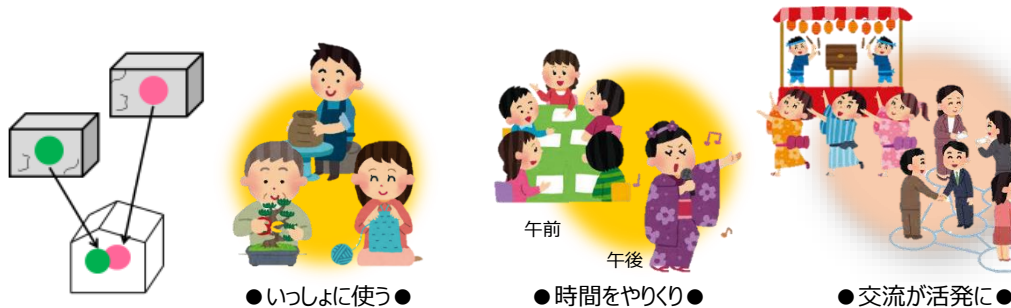
考え方には、大きく2つの手法があります。

考え方1 同じような使われ方をしている施設では、施設を選ぶ



使い続ける施設と将来廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をします。

考え方2 使われていないスペースがある施設では、施設をまとめる



建物が減っても工夫することで活動は続けられ、新たな交流も生まれます。

公共施設を考える時の視点

次の7つの視点で施設を考えていきます。

建築年数や修理の状況



地震に強い建物か



よく利用されているか



使っていない部屋はないか



同じような使われかたをしている建物がないか



修理などにお金が掛かりすぎていないか



バリアフリーに対応しているか



グループでの話し合いの様子



6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方

コミュニティ活動施設



❁地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動の場はこれからも必要です。
 ❁今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定の年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



小島地区
ふれあいセンター



仁田佐古地区
ふれあいセンター



南公民館



大浦地区公民館



老人憩の家
つばき荘



大浦児童センター

中学校区に配置する施設

●多数の参加が見込まれる活動や行事などのため、小学校区の施設よりも広いスペースや調理室などの特定の設備が必要な施設については、小学校区に配置する施設を兼ねる形で、概ね中学校区への配置を考えています。

小学校区に配置する施設

●地域の皆さんが最も身近な場所で、地域の話し合いなど、さまざまな地域活動に利用する地域コミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の範囲への配置を考えています。

中学校区

小学校区

- 集会室
- 和室
- 給湯室



…等

- 集会室
- 会議室
- 和室
- 調理室
- 事務室兼図書室
- …等

学校施設

学校の適正配置については、教育委員会が地域と協議させていただいています。



小島小学校



愛宕小学校



仁田佐古小学校



大浦小学校



小島中学校



大浦中学校



梅香崎中学校

放課後児童クラブ

子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るため、基本的に小学校区ごとの利用見込みに応じて配置します。



元気っ子クラブ



さくらんぼクラブ



ゆうゆうクラブ

子育て関連施設

子育て世代の支援の一つとして、保護者の子育ての孤独感や不安感の軽減を図るため、保護者が気軽に集い、相互に相談や交流等が出来る場として、子育て支援センターの設置を進めており、「長崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、市内16区域に設置する考えです。



子育て支援センター
「ひなたぼっこ」

保育所・幼稚園

安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに育つ環境を整えるうえで、保育・育児サービスは必要です。

この地区にある2つの市立保育所は、令和7年に民間移譲し、旧仁田小学校校舎跡地に保育所を新設する予定です。



緑ヶ丘保育所



仁田保育所

博物館等

市民全体が利用する施設として、教育の振興や学術・文化の発展に寄与することを目的として設置していますが、展示物の老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。



十善寺地区まちづくり
情報センター・蔵の資料館



長崎(小島)養生所跡
資料館

文化財

長崎固有の指定有形文化財等を観光資源として活用することにより、交流人口の拡大に寄与するなど、観光施設としての側面もあるため、積極的な活用に努め、観光地としてのさらなる魅力の向上を図ります。



グラバー園



南山手8番館



南山手乙9番館



南山手乙27番館



旧香港上海銀行
長崎支店



旧長崎税関
下り松派出所



東山手洋風住宅群
A~C棟



東山手洋風住宅群
D~G棟



東山手十二番館



中の茶屋



旧長崎英国領事館



東山手甲十三番館



長崎近代交流史と
孫文・梅屋庄吉
ミュージアム



天后堂



観音堂



土神堂



旧紅葉本館



旧紅葉氏宅

市営住宅

- 今後、人口や世帯数が減少し、市営住宅の需要は減ると予想されます。そのため、民間住宅市場で最低居住水準を確保できない低額所得者や、入居制限を受ける可能性がある高齢者や障害者、子育て世帯等の住居困窮度の高い世帯などの、真に救済すべき世帯の最低限の安全な暮らしを守る役割を担いながら、将来的には市全体の市営住宅の総戸数を減らしていく方針です。



十善寺住宅



二本松住宅



市営駐車場

- 普通車駐車場については、現在、市全体では充足しており、一般利用者のための市営駐車場の必要性は低くなっていくものと考えますが、公共施設等の利用者の利便性確保のために必要であることから当面は現施設を維持していくこととしています。
- 二輪車等駐車場については、サービスを提供する民間事業者が少ないこともあり、必要台数の確保に向け官民連携して整備を推進していきます。



松が枝町駐車場



松が枝町第2駐車場



新地町
二輪車等駐車場

消防施設



✿ 消防体制の見直しを図りながら、効率的な適正配置により、将来にわたり長崎市にお住いの皆さんが安全安心に暮らせるように、サービスの提供を行ってまいります。



中央消防署
松が枝出張所



中央消防署
小島出張所

その他

✿ 新たに建築物などを造る際実施する埋蔵文化財の発掘調査で出土した遺物を整理し、記録保存しています。



埋蔵文化財整理所

6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方（つづき）

公園施設

❁公園には、「防災や避難等災害に対応できる機能の確保」、「複合遊具等を活用した魅力的な子どもの遊び場の創出」、「スポーツ施設等での利用」、「健康づくりのための機能の導入」など、多様なニーズへの対応が求められています。



唐八景公園(総合公園)



鍋冠山公園(近隣公園)



祝捷山公園(近隣公園)



出雲近隣公園(近隣公園)



★グループでの話し合いで出された主な意見

グループで話し合っていた内容について、班ごとに発表していただきました。

※4班は参加者が不在だったため、発表はありません

- ・二本松の集会所は避難所になっているが狭すぎて収容人数が足りない。 **1班**
- ・交通の充実が重要で、近くにある公共施設はニーズが高く、遠くても交通の便がよければ利用すると思う。

- ・文化財が多い地区だが、市民の方でも場所や使い方を知らないことが結構ある。 **3班**
- ・学校の空いている教室があれば、昼間に授業の妨げにならないよう、出入口を別に整備するなどして活用できないか。
- ・足の確保で、長崎の電気軌道を行けるところまで延ばしてほしい。

- ・みんなが集まる公民館などに駐車場があるかどうかで行けるかどうかが全然違ってくる。駐車場や駐輪場を整備するような事業があればとてもありがたい。 **6班**
- ・大浦中学校の場所が将来的に統廃合で空けば、「地域の駅」のような形でそこを中継地点としてバスやジャンボタクシーのようなものが通ればよいと思う。

- ・3中学校区では生活圏が違う。公共施設の集約や再編をという時は、生活圏を考えてほしい。 **2班**
- ・2バス化の計画など、県と市が積極的に意見交換をして、一緒に考えてほしい。

- ・南公民館はアクセスが悪く、今は浪平小学校跡地を使っているが、元々の駐車場は狭く使い勝手が悪いなどというところがある。 **5班**
- ・浪平小学校跡地を通常から広場として使えば、もっと生きてくるのではないか。
- ・老人憩の家は使う人が限定されているので、線引きを無くし、みんなで使えるようになればよい。

- ・高齢化が進み、地域の関係が希薄化していると感じる。公共施設よりも先に地域のコミュニティの話が大事ではないか。 **7班**
- ・小島小学校で、多世代の方が活用できる色々な機能や、日中しか使われていないため、夜間開放して地域の方も使えるようにしてはどうか。

【講評】（アドバイザー：東京都立大学 都市環境学部 讃岐 亮 先生）

- 皆さんの話で共通していたのは交通網の話でした。点と点を繋ぐネットワークを考えないことには公共施設について考えられないというご意見をいただきました。
- 市民サービスの向上や本当のまちづくりを考える時に、市役所内でも意見をぶつけ合う場というのは本当に大事だと思います。まちづくりに対する議論は継続性が重要で、市の中でも、そして市民と市との対話でも、更には市民同士で、継続できるような仕組みが必要でしょう。そして、議論がきちんと未来のまちづくりに反映されることを願っています。



次回の対話では・・・

長崎市から個別の公共施設の配置の考え方をお示したうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこそわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思っております。

第2回 日時：令和4年8月20日（土）16：00～18：00

場所：長崎市男女共同参画推進センター（アマランス） 研修室1・2

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）